

## 千葉県フェアトレード宣言 ～人と地域、世界の未来をつなぐ 3つのフェアトレード～

今、私たちの日々の暮らしは世界中の人々や地球環境と深くつながると同時に、近年の急激な社会構造の変化が、生活様式や働き方に大きな影響を与えています。

折しも千葉市が開府 900 年という大きな節目を迎える今、私たちは、単なる生産性や効率性のみを追い求めるのではなく、ふるさとの価値や魅力を改めて認識する中で、真の豊かさとは何かを見いだし、それを未来へとつないでいく——そのような行動や選択を一人ひとりが重ねることによって、持続可能な地域社会を自ら築いていく時代を迎えています。

フェアトレードは、こうした課題に向き合い、地球環境の保全、地域社会の維持・存続、人権の尊重及び障害のある人の社会参画に配慮して生産された「価値あるもの」を、適正かつ公正な価格で購入することにより、誰もが誇りとやりがいを持って働くことができる社会の実現に寄与するものです。

千葉市では、開発途上国の生産者や労働者の生活水準向上を目指す「インターナショナル・フェアトレード」、地産地消を通じて地域の生産者や産業の持続可能性を支える「ローカル・フェアトレード」、そして、障害のある方が携わる製品やサービスを適正な価格で購入することを通じて、自立及び社会参加を支援する「チャレンジド・フェアトレード」という、3つの取組みを進めています。

私たち一人ひとりの消費という、身近な選択を通じて、作り手を尊重し、適正かつ公平な価格で購入する実践の積み重ねこそが、豊かな自然と公正な社会を次世代へと引き継ぎ、未来に真に価値あるものを残していくための大切な一歩となります。

ここに、千葉市は、フェアトレードの理念を支持し、市民や事業者の皆様と共に、地域から世界へ、そして現在から未来へと希望をつないでいく「フェアトレードシティ」として、その普及と推進に取り組んでいくことを宣言します。

令和8年3月26日

千葉市長 神谷 俊一